

オオキイロアツバ *Pseudalelimma miwai* Inoue

【選定理由】

ツゲ群落固有のガで、生息環境が特異で県内の産地は極めて限定されている。



新城市黄柳野, 2008年6月7日, 乙部 宏 採集

【形態】

開張 40~46mm、前後翅とも羽全体が黄色、黒色の外横線が前翅に薄く現れる。♂の触角は両櫛歯状で外側の櫛歯は非常に長い。下唇髭は長く鎌状に上反する。1属1種である。

【分布の概要】

【県内の分布】

新城市黄柳野（間野・宮崎，1988）の記録が唯一。

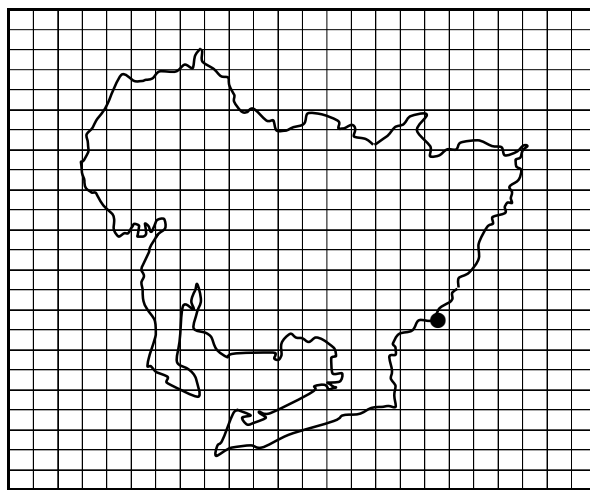
【国内の分布】

新潟県、東京都、岐阜県、三重県、奈良県、岡山県、広島県の本州のみで記録されている。

【世界の分布】

現状では日本特産種。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

幼虫はエチゴハガタヨトウと同様ツゲを食す石灰岩性のガで、県内では蛇紋岩地帯に発達するツゲ群落で確認されている。成虫は 6~7月頃と 9~10月に発生する。

【現在の生息状況／減少の要因】

生息地は保護され少ないながらも比較的安定しているが、孤立した生息地であるため予断を許さない。

【保全上の留意点】

幼虫の野外での食樹がツゲのみであることから、ツゲの生育を保全する。

【引用文献】

間野隆裕・宮崎弘規, 1988. 愛知県鳳来町で採集した蛾. 誘蛾燈, (111): 23-29.

【関連文献】

岸田泰典ほか, 2011. 日本産蛾類標準図鑑. II. 学習研究社.
杉 繁郎ほか, 1987. 日本産蛾類生態図鑑. 講談社. 東京.
山田乙三, 1965. 坂本谷の蝶と蛾. ひらくら, 9 (7): 109-110.
山下善平ほか, 1963. 鈴鹿山脈の昆虫. 鈴鹿山脈自然科学調査報告: 119-288. 三重自然科学研究会.
山下善平ほか, 1980. 神宮境内地昆虫調査報告書. 神宮司庁.

(間野隆裕)